

# 令和元年第1回市議会定例会一般質問一覧表

1 日 時 令和元年6月13日(木) 午前9時30分  
令和元年6月14日(金) 午前9時30分

## 2 質問者 (質問順)

- |               |     |                        |
|---------------|-----|------------------------|
| (1) 子どもたちに青い空 | 40分 | (1 村瀬晃代、2 村瀬進治)        |
| (2) 新緑水クラブ    | 60分 | (3 蟹江孝信、4 井上正人、5 北川明夫) |
| (3) 市友会       | 40分 | (6 佐藤友昭、7 工藤政明)        |
| (4) 公明党       | 40分 | (8 井上純一、9 神野久美子)       |
| (5) 日本共産党議員団  | 40分 | (10 近藤美保子、11 坂 ゆかり)    |
| (6) 東海市民の声    | 20分 | (12 間瀬友浩)              |

## 3 質問事項、要旨及び項目

質 問 者	1 村瀬晃代議員 (子どもたちに青い空)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 ばいじんについて	1 本市における降下ばいじん・粉じんについて問う	<p>(1) 降下ばいじんについて、市内各測定地点における11月から3月までの過去3年間の測定値の推移はどのようなものであるか。また、市は臨海部企業におけるばいじん対策について具体的な対策内容をどのように把握し、対策の効果をどのように評価しているか</p> <p>(2) 降下ばいじんについて、過去3年間における市民からの相談及び苦情等の件数及び対応状況はどのようなか。また、相談及び苦情等の内容について、変化はみられるか</p> <p>(3) 日本製鉄株の設置した西知多産業道路横の防風ネット付近に白い物質が置かれているが、市はその状況を把握しているか。また、この白い物質の影響をどのように考えているか</p> <p>(4) 日本製鉄株が、平成30年に発行した社内広報紙の東海新年号に掲載されている所長あいさつにおいて、降下ばいじん低減に向けて、残された発生源に対し、設備対策の成案化を進めると言及しているが、市は対策内容及び進捗状況を把握しているか</p> <p>(5) 臨海部企業の実施する粉じん対策について、現在の対策方法では、発生源対策として十分ではないと考えるが、市はどのように対策を分析し、今後、対策の抜本的な見直しを求める考えはあるか</p> <p>(6) 臨海部企業と連携し、社内広報紙で紹介されていた、鉄粉と竹炭を混ぜた鉄炭団子を作り、鉄分を供給し、植物プランクトンを増やすことにより海域の生物を再生する環境対策について、検討すべきと考えるがどうか</p>	

<p>2 木造住宅耐震改修工事費補助制度について</p>	<p>1 平成15年から実施している耐震改修補助制度の内容及び申請方法等について問う</p>	<p>(1) 本補助制度による改修件数及び補助限度額の過去5年間の推移はどのようなものであるか。また、本市が無料で実施している耐震診断を通じて本補助制度を活用して改修を行った割合はどのようなものであるか</p> <p>(2) 現在、愛知県で、同様の補助制度を実施している市町村の割合はどのようなものであるか。また、その中で、本市の補助限度額である最大100万円は、県内で何番目の補助限度額であるか</p> <p>(3) 本補助制度には工事業者に補助金の受領を委託する代理受領が可能であるとのことだが、代理受領についての市民への周知状況及び今後の周知予定はどのようなものであるか。また、補助額の確定後の支払いまでに要する日数はどのようなものであるか</p>	
<p>3 まちづくりについて</p>	<p>1 まちづくりの基本姿勢について問う</p>	<p>(1) 平成29年度横須賀文化の香るまちづくり講演会事業報告について、後日参加者から同報告に追記してほしい講演内容について意見が出されているが、対応状況及び音声記録による内容確認はどのようなものであるか</p>	
	<p>2 横須賀文化の香るまちづくりの基本構想及び基本計画について問う</p>	<p>(1) 現在、無電柱化による道路美装化計画及び沿道建物景観整備計画の進捗状況はどのようなものであるか</p> <p>(2) 無電柱化による道路美装化計画における事業費をどのように見込んでいるか。また、その費用対効果をどのように考えているか</p> <p>(3) 無電柱化の効果を享受する主体として、近隣住民の存在は不可欠であると考えますが、該当地区内に空き地及び空き家が数多く存在していることについて市の考えはどのようなものであるか</p> <p>(4) 無電柱化や駅前ロータリーの完成後、横須賀地区のさらなる整備計画はどのようなものであるか</p> <p>(5) ハード面が着実に進んでいる中、にぎわいづくり等のソフト面についてはどのように考えているか</p>	

質 問 者	2 村 瀬 進 治 議 員 (子どもたちに青い空)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 環境対策について	1 本市における、ばいじん、ダイオキシン類及び二酸化炭素の現状及び今後の環境対策について問う	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 本市臨海部の鉄鋼企業3社における、ばいじん、ダイオキシン類及び二酸化炭素のうち、市で把握しているもの、及び過去3年間の排出状況はいかに</li> <li>(2) ばいじん、ダイオキシン類及び二酸化炭素が環境や人体に与える影響をどのように分析しているか</li> <li>(3) 臨海部企業が地域住民に対して行っている環境対策状況の説明会等について、説明内容をはじめとした実施状況を把握しているか。また、参加者からの意見及び質問等を把握しているか</li> <li>(4) 本市がこれまで地域住民に対し、降下ばいじんの状況や対策についての意見交換会を開催してこなかった理由はいかに。また、今後、意見交換会を開催する考えはいかに</li> <li>(5) 本市は愛知県及び臨海部企業と降下ばいじん対策検討会を開催しているが、これまでにどのような検討がされたのか</li> <li>(6) 本市の降下ばいじん量について、めざそう値の達成を2倍の速さで進めることができるよう、危機感を持って臨み、さらなる対策を講じるように臨海部企業に要請するべきと考えるがいかに</li> </ul>	

<p>2 期日前投票所について</p>	<p>1 現在、市中央部のみに設置されている期日前投票所の設置の考え及び投票率向上のための働きかけの方策について問う</p>	<p>(1) 期日前投票所を新たに設置する場合、どの程度の費用が必要になるのか  (2) 南北に広がる本市において、期日前投票所を南北の各地域に設置しない理由はいかに  (3) 平成31年に開館した横須賀図書館内に、期日前投票所を設置する検討はされているか。また、選挙管理システムの専用回線によるオンライン接続、費用対効果、人材確保及び開設期間中に会場を連続使用できることを期日前投票所の設置条件としているが、横須賀図書館は設置条件を満たすと考えているか  (4) 期日前投票所の設置条件について、芸術劇場内に期日前投票所を新設する際の検討方法及び検討結果はどのようであったか。また、芸術劇場以外にも設置効果が高いと思われる施設の検討は行われたのか  (5) 投票率向上のため、投票率の低い地域に新たに期日前投票所を設置する考えはあるか。また、投票の利便性向上のため、芸術劇場正面入口にドライブスルー期日前投票所を設置してはどうか</p>	
<p>3 中ノ池地区の桜の木について</p>	<p>1 中ノ池地区の桜の木に腐食が多く見られることについて、再生に向けての対策計画を問う</p>	<p>(1) 地域住民と今後の対策計画を話し合うとのことであったが、具体的な日程は決定したのか</p>	
<p>4 小中学校の通学路について</p>	<p>1 最近の報道で、自動車の交通事故に歩行者が巻き込まれる痛ましい事件を多く目にする事から、児童生徒の安心安全な通学のため、通学路の安全対策について本市の状況を問う</p>	<p>(1) 小中学校の通学路における危険箇所数を把握しているか。また、その検証及び対策状況はいかに  (2) 通学時の安心安全のため、学校では児童生徒に対し、どのような指導をしているか</p>	

5 防犯灯について	1 夜間の利用が多い道路に防犯灯が設置されておらず、地域住民から不安の声があることから、本市における防犯灯設置の考え方及び今後の安全対策について問う	(1) 本市における防犯灯の設置基準はどのようなか (2) 地域住民から防犯灯の設置要望がある場所の特徴を把握しているか (3) 高横須賀町城山地内の道路について、夜間の利用が多いにも関わらず、防犯灯が1基も設置されていない区間があるが、設置に至らない理由はいかに (4) 高横須賀町城山地内の道路において、地域住民が安心安全に利用できるための市が果たす役割をどのように認識し、今後どのような安全対策を実施していくのか	
6 ごみ指定袋制度について	1 現在のごみ指定袋制度について、不燃用と資源用のごみ指定袋だけ余る、可燃用のごみ指定袋との交換ができず不便である等の不満が市民から聞かれることから、本制度に対する本市の考えを問う	(1) 不燃・資源用のごみ指定袋を捨てている市民もいると聞くが、現状の配布枚数についての課題はいかに。また、その改善策はいかに (2) ごみの減量等を目的とした指定袋制度導入の経緯を踏まえつつ、より市民にとって便利な制度とするため、不燃用袋や資源用袋と可燃用袋の自由交換に対する意見調査を行う必要があると考えるがいかに	

質 問 者	3 蟹 江 孝 信 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 新たな地域特産物の創出支援について	1 愛知県が独自に開発した、かんきつの新品種である「夕焼け姫」を、本市の新たな地域特産として創出していくための支援策及び中心的な役割を担う農業センターの今後のあり方等について問う	(1) 夕焼け姫の味や色等の特徴はどのようなものであるか (2) 夕焼け姫の生産に対する県内の他地域の取組状況をどのように把握しているか (3) 地域特産物として創出していくための支援策をどのように考えているか (4) 富木島石根土地区画整理事業により農業センターのほ場面積が減少しているが、地域特産物の試験ほ場としての農業センターの今後のあり方をどのように考えているか	
2 キャッシュレス決済の導入支援について	1 令和元年10月に予定されている消費税率引き上げに向けた経済対策の1つとして、政府がキャッシュレス決済を行った消費者にポイント還元する等の政策を公表していることを踏まえ、本市におけるキャッシュレス決済の導入支援策等について問う	(1) 国によるキャッシュレス化の推進内容をどのように把握しているか (2) キャッシュレス決済導入による事業所のメリット及びデメリットを本市としてどのように考えているか (3) コアふきしま協同組合において、キャッシュレス決済導入の動きがあるが、本市における導入支援策をどのように考えているか	
3 郷土の偉人の功績を継承する取組について	1 本市には細井平洲先生を始め、多くの郷土の偉人がいる中、横須賀町出身で歌人・書家として活躍した阪正臣氏や、富木島町出身で融通念仏宗の開祖である良忍上人の功績を継承する取組等について問う	(1) 経歴や功績の調査研究の概要はどのようなものであるか (2) 郷土の偉人として、更なる普及啓発や功績等の継承を進める考えはあるか (3) 横須賀町を中心に、諏訪神社の万葉の歌碑や愛宕神社の句碑等、「歌」をテーマにした地域資源の発掘を通じて、正臣氏を始めとした郷土の偉人の功績を継承していく考えはあるか	

質問者	4 井上正人議員（新緑水クラブ）		
質問事項	質問要旨	質問項目	備考
1 木田の土地改良と駅前通り線の延伸について	1 木田北部土地改良事業に大量の土砂が運び込まれている中で、リニア関係の土砂が止まっていると聞いたが、事業は順調に進められているか進捗状況を問う	(1) 土砂の受け入れはどれくらい進んでいるか (2) 事業進捗は予定どおりか	
	2 太田川駅前通り線道路改良事業は異なる2つの事業が同時に進行しているが、問題点について問う	(1) 道路築造に支障となる物件はどのくらいか。また、それぞれの対応及び問題点はどのようなか	
2 障害者雇用について	1 豊明市では農業を通じて、一般企業の障害者雇用と就職を目指す障害者をサポートし、企業向けの貸し農園を運営している事例がある。本市の障害者雇用の現状と就労支援について問う	(1) 本市の障害者の雇用率と求職状況はどのようなか (2) 豊明市で実施している企業向け貸し農園の仕組みはどのようなものか (3) 本市でも障害者雇用を目的とした企業向け貸し農園を誘致し、長期に安心して就労できる環境を整備する考えはあるか	
3 公共トイレについて	1 現在はトイレに対する日本人の意識が大きく変化してきている。私自身も温水洗浄便座のついていないトイレだとたとえ洋式でも躊躇するようになった。市内にある屋外トイレについて本市の考えを問う	(1) 水洗でなく汲み取り式の和式トイレがちびっこ広場に2か所ある。子どもが穴に落ちる危険があると思うが早急に水洗トイレへの改修を検討してはどうか (2) 洋式トイレの割合及び洋式トイレのうち温水洗浄便座がついている割合はどうか (3) 市内の屋外トイレについて、今後どのような整備を目指していくのか	
	2 公共施設の屋内トイレについても利用者によっては洋式でないと困る方が多いのではないかと思う。特に高齢者が多く利用する施設でのトイレの状況について問う	(1) 市内の公共施設のうち高齢者が多く利用するしあわせ村、敬老の家、健康交流の家及び地域の公民館・市民館における洋式トイレや温水洗浄便座の設置状況はどのようなか (2) 特に敬老の家については、すべてを温水洗浄便座付きの洋式トイレの設置を目指してはどうか	



<p>4 ランの道について</p>	<p>1 名鉄太田川駅東にランを中心とした植栽が行われた緑道は、市民の目を楽しませているが、日本で前例のない取組のため失敗を繰り返しながら行っている状況である。農業センター及び専門家の協力は今後も必要と考えるが本市の考え方を問う</p>	<p>(1) 昨年きれいに咲いた黄エビネが、今年はほとんど咲かずに終わった原因は何か  (2) 専門家の指導の下、シランは順調に今年も花を咲かせている。来年には株分けが必要になると思うが、どのように考えているか  (3) 市民にランの魅力を知ってもらうために、専門家による説明会や植栽会を開催してはどうか</p>	
-------------------	--	--	--

質 問 者	5 北川明夫議員（新緑水クラブ）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 社山北地区の今後のまちづくりについて	1 平成31年3月末に社山北地区が市街化区域に編入され、同時に地区計画の決定と建築物の制限条例が制定された。民間事業者による大規模住宅開発が予定される地区であり、今後の良好なまちづくりを進める観点から取組状況を伺う	(1) この事業は近年にない大規模開発で、市街化区域編入や地区計画の事前協議が行われてきたが、市はどのように調整を行ってきたのか。また、地区内に設置する公共施設や公益施設の計画はどのような内容なのか (2) 決定された地区計画の下で、地区外への出入口、地区内道路の歩道や防犯灯等の整備など安全対策と共に、公園・緑地や電柱の設置場所など生活環境対策について、宅地開発等指導要綱に基づく協議・調整の内容は、どのようなか (3) 新しく定住する市民と周辺地区との融合が図られ、地域一帯で良好なまちづくりが進むよう期待するが、今後の町字区域の見直しと共に、町内会・自治会の形成に関する考え方はどのようなか	
2 南海トラフ地震等の防災対策の強化について	1 自然災害の脅威が常態化する中で、南海トラフ地震の発生は、本市にとって甚大な災害をもたらす可能性がある。先頃、県が津波災害警戒区域を指定するなど南海トラフ地震をめぐる動きの中で、速やかに対応すべき防災対策の強化について伺う	(1) せき上げ高を含む基準水位が示され、住民等の安全確保が急務となっているが、公表内容をどのように分析し、どう対策を講じていくのか (2) 平成31年3月に「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン」が示されたが、市民の取るべき対応をどう考えるか (3) 本市は地震編の業務継続計画を策定済みだが、72時間の壁を目標とする地震防災対策が最も重要となるので、各防災関係機関と連携した訓練等の取組はどうか (4) 避難所等における災害時用資機材・物資備蓄計画の進捗状況はどのようなか。また、避難所内のWi-Fi整備やプライバシー保護の視点など、充実強化に向けてどのように考えているのか	

<p>3 防犯力を高めるためのまちづくりについて</p>	<p>1 本市の犯罪率は、年々低下しているものの、未だに侵入盗等が多く発生している。また全国的に凶悪事件が多発していることから、LED防犯灯や防犯カメラを活用した、防犯力の高いまちづくりについて伺う</p>	<p>(1) 犯罪防止には夜間の住環境を明るくすることが有効なので、現在、約7400基の内9%に過ぎないLED防犯灯について、早期の100%整備を目指してはどうか  (2) 現在、鉄道駅周辺を中心に防犯カメラ30台が設置されているが、他の防犯重点地区や通学路等における防犯力を高めるため、今後の整備計画はどのようなか  (3) 市民のプライバシー保護を図りつつ安全安心なまちづくりを進めるため、公共の場所での防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン等策定の検討状況はどうか</p>	
<p>4 地方税滞納整理の広域的な取組について</p>	<p>1 知多地方税滞納整理機構は、平成23年度の設置から2度延長され9年目になるが、これまでのような県の協力体制は令和元年度限りで終了すると聞く。そこで、今後の広域的な取組の方針について伺う</p>	<p>(1) 徴収が困難な個人住民税等の滞納整理を進める上で、滞納整理機構が果たしてきた役割はどのようなか。また、その成果をどのように評価しているのか  (2) 県の直接的関与がなくなる令和2年度に向けて、任意組織で継続するのか、強固な組織に変えるのか、人員体制はどうするのかなど、急ぎ関係市町との協議が必要と考えるが、どのように対応する方針なのか</p>	
<p>5 情報システムにおける行政改革について</p>	<p>1 国は、平成25年から毎年「世界最先端IT国家創造宣言」を改訂し、地方に対し、情報システム運用コストの削減やクラウド化など、デジタル改革の推進を求めている。そこで、これまでの取組状況と共に、今後の課題や進むべき方向性について伺う</p>	<p>(1) 現在、情報システム数は83件、委託業者数は40社に及び、人口一人当たり処理経費は4千円余であるが、他団体と比較してどう評価しているのか。また、今後より効率化するため、どのように取り組む方針なのか  (2) 平成30年度に全ての情報システムを対象に、ハード面で民間を活用した単独クラウド化を実施しているが、さらにコスト削減や情報セキュリティ等を向上させるため、他団体との共同化を目指していく考えはあるのか  (3) 情報システムの改革を主体的に推進するには、専門知識と実践経験の豊富な高度人材の採用・育成が急務だが、情報課を軸とする人材確保プランを作成しているのか</p>	

<p>6 市職員の働き方改革の推進について</p>	<p>1 平成31年4月から働き方改革関連法が施行され、時間外勤務命令の上限設定など、地方公務員の働き方や職場環境に実効性のある改革が求められている。そこで、市職員の働き方の現状や課題に対する今後の取組方針について伺う</p>	<p>(1) 市職員の時間外勤務の状況、年次有給休暇や男性職員育児休業の取得状況の現状をどのように評価しているのか。また、今後の取り組むべき課題は何か</p> <p>(2) 規則で定める時間外勤務の上限を踏まえた、具体的な理由等の実績報告を提出させるなど、より有効な時間外勤務の削減策を導入してはどうか。また、男性職員の育児参加を支援するため、取得前から復帰後までのサポート体制はどのようになっているのか</p>	
---------------------------	---	--	--

質 問 者	6 佐藤友昭議員（市友会）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 子育て支援について	1 夫婦共働きの家庭が増えている中、本市と知多市の共同事業として平成27年度に開始した病児・病後児保育事業は、病氣中、あるいは病後も安心して子供を預けられる事業として開始4年が経過したが、現状と今後の方向性について問う	(1) 病児・病後児保育事業を利用できる児童はどのようなようであるか (2) 病児・病後児保育事業の平成27年度からの利用者の推移はどのようなか。また今後、病児・病後児保育事業を拡大していく考えはあるか	
	2 子育てをしながら社会に出て働く社会の実現を目指して、女性等、多様な人材がより活躍できる環境を整備する施策として、夜間・休日保育の充実が必要と考えるが、本市の取組について問う	(1) 現在、夜間・休日保育を行っている施設の状況はどのようなか (2) 夜間、休日の勤務等、働き方も多様化しているが、夜間・休日保育について、今後どのように取り組んでいくのか	
2 水銀灯の製造中止に伴う対応について	1 水銀に関する水俣条約が平成28年2月2日に締結され、水銀添加製品の製造や輸出入が令和3年以降、禁止となることを踏まえ、本市の公共施設等で使用している水銀灯等の更新についての考えを問う	(1) 本市の街路灯や防犯灯及び公共施設における、今回の規制対象となる水銀灯を使用している施設及び使用数量はどのようなか (2) 全ての水銀灯を交換するには、莫大な費用が必要と考えるが、更新費用をどの程度と見込んでいるか (3) 水銀灯の更新計画はどのようなか	

質 問 者	7 工 藤 政 明 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 大人の引きこもりについて	1 大人の引きこもりを原因とする8050問題が深刻化の様相を呈している。大人の引きこもりを社会問題と捉え、本市の状況及び本市が考える自立への支援策等について問う	(1) 本市は、大人の引きこもりの定義や対象をどのように考えているのか (2) 大人の引きこもりは、当事者や問題そのものが潜在化する傾向にあるため、実態の把握が難しいとされているが、本市は大人の引きこもりの実態をどのように考えているのか。また、本市で実態調査は行われているのか (3) 国や県が進める大人の引きこもりから自立するための支援策や支援活動の調査研究は行われているのか (4) 平成20年3月に「東海市ひきこもり施策基本指針」が策定され、引きこもりを青少年の問題として捉えた支援策等が打ち出されているが、青少年の問題に留めず、大人の引きこもりを社会問題と捉えた自立への支援策等を策定する考えはあるのか	
2 交通安全施策について	1 東海有松線の富木島町西才道地内にある信号機のない横断歩道は、付近の宅地開発等により、歩行者の往来が増加している。この横断歩道をはじめとする市内の信号機のない横断歩道における交通事故を未然に防止する方策について、本市の考えを問う	(1) 平成29年11月に富木島町西才道地内にある信号機のない横断歩道で、小学生が被害者となる交通事故が発生しているが、その後には施された交通事故を未然に防止する方策を把握しているのか (2) 市として、信号機のない横断歩道における交通事故を未然に防止するための方策をどのように考えているのか。また、市民への方策の周知は、どのような方法で行われているのか	

	<p>2 供用開始から10年を迎える名古屋半田線バイパスの名和・荒尾区間は、交通の利便性向上により、多くの車両が往来する道路となった。しかしながら、交通量の増加により、交通事故が多く発生している状況にあり、同区間における交通事故を未然に防止する方策について、本市の考えを問う</p>	<p>(1) 同区間での一日の車両交通量を把握しているのか。また、その交通量は、市内の他の幹線道路と比較すると、どのような状況にあるのか</p> <p>(2) 過去10年間において、同区間内で発生した人身事故の件数を把握しているのか。また、その事故件数は、他の市内の幹線道路と比較すると、どのような状況にあるのか</p> <p>(3) 同区間内で発生した人身事故の原因を把握しているのか。また、その原因や特徴をどのように考察しているのか</p> <p>(4) 同区間は警察による交通違反取締りの強化が図られていると捉えているが、取締りの対象となった交通違反の内容や件数を把握しているのか</p> <p>(5) 市として、同区間内の交通事故を未然に防止するための方策をどのように考えているのか</p>	
<p>3 学校教育における性の関わり方について</p>	<p>1 児童生徒の心身の発達段階に応じた正しい性の知識を与えるための教育、いわゆる性教育について、本市の取組状況を問う</p>	<p>(1) 児童生徒に性教育を行う学年や性教育の授業形態等は、どのような内容で定められ、行われているのか</p> <p>(2) 児童生徒の知識の習得状況をどのように把握し、評価しているのか</p>	
	<p>2 避妊や性交渉は、学習指導要領に示されていないながらも、一方では、正しい知識を与えるための指導を必要とする考えもあると聞いている。学校教育における本市の現状と考えを問う</p>	<p>(1) 本市の学校教育において、避妊や性交渉を扱った事例はあるのか。あるのならば、その内容はどのようなものなのか</p> <p>(2) 避妊や性交渉の正しい知識を与えるためには、どのような教育方法があると考えているのか</p>	
	<p>3 児童生徒からの性に関する相談を受ける体制について問う</p>	<p>(1) 性に関する相談を受ける体制は整っているのか。また、その体制はどのような内容で定められているのか</p> <p>(2) 児童生徒に望まない妊娠が生じた場合を想定した対応策は、整っているのか</p>	

質 問 者	8 井 上 純 一 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 防災減災対策について	<p>1 環境省は、災害時に飼い主にとって、家族同然のペットと安心して避難所で暮らせるように東日本大震災の教訓を踏まえ、「人とペットの災害対策ガイドライン」を平成30年3月にまとめた。その中で、自治体の役割として、災害発生時に飼い主が自己責任で行うペットの同行避難や、適正な飼養管理ができるように、平常時から、飼い主に対してペットの飼養・管理方法を普及・啓発することを求めている。そこで、本市の取組について問う</p>	<p>(1) 避難所におけるペットのルールはどのようなものであるか  (2) 平時より飼い主に対し、災害に対する備えとしてのペットの適正な飼養の必要性や災害発生時の対応についてパンフレット等を活用し、普及・啓発すべきと考えるがどうか</p>	
	<p>2 総合防災訓練は、災害への備えとして欠かせないが、参加者の輪が広がらない点や実践感覚に乏しい点等の課題が挙げられる。こうした課題を回避するための本市の取組について問う</p>	<p>(1) 平成30年度、実施した総合防災訓練において、どのような工夫をしたか  (2) 市民に実践的な訓練となるよう避難訓練や救助活動、避難所運営訓練等に重点を置くべきと考えるがどうか</p>	



	<p>3 災害のたびに指摘される住民の逃げ遅れ。これは、逃げる気持ちが住民にあっても実際の行動に移す難しさを示している。現在、政府の中央防災会議の作業部会では、水害や土砂災害に際し、住民が迅速な避難行動を取るために必要な対策について検討している。そこで、本市における対策について問う</p>	<p>(1) 市民が迅速な避難行動を取るために、どのような対策を考えているのか  (2) 分かりやすい情報提供として、防災ラジオの自動起動を、台風や豪雨の際にも実施すべきと考えるがどうか  (3) 市民の「逃げる力」を育むために、災害時に個人がとるべき避難行動を時系列にまとめた「マイ・タイムライン」づくりを推進すべきと考えるがどうか</p>	
	<p>4 災害時の非常用電源として、電気自動車（EV）や家庭で充電できるプラグインハイブリッド車（PHV）の活用が拡大している。そこで本市の考えについて問う</p>	<p>(1) 公用車等を災害時に地域の非常用電源として使用できるようEVやPHVに更新していく考えはあるか  (2) 自動車メーカー等と緊急時にEVやPHVの無償貸与を受ける協定の締結を検討すべきと考えるがどうか</p>	
	<p>5 平成31年3月から国産の液体ミルクが発売になったが、災害時の備蓄品としての今後の活用について問う</p>	<p>(1) 災害時の乳児に対する備蓄品について、何をどれだけ備蓄しているのか。また、今後、液体ミルクを備蓄していく考えはあるか  (2) 乳児健診等で、液体ミルクの飲み方の説明や試飲を実施すべきと考えるがどうか</p>	
<p>2 行政協力員及びコミュニティの強化について</p>	<p>1 政府の高齢者雇用促進への取組に伴い、定年後も働くことを希望する高齢者が増えた事、また、事務負担が大きい事等から行政協力員のなり手不足が深刻になってきている。そこで、本市の行政協力員サポート及びコミュニティ機能強化対策について問う</p>	<p>(1) 市からの依頼業務が多過ぎて対応に苦勞しているとの声を行政協力員から聞くが、年間どれくらいあるのか  (2) 行政協力員の事務負担軽減のために、依頼内容を見直すべきと考えるがどうか  (3) ほとんどの専門員は1人で2つのコミュニティを担当しているが、主な業務内容は何か  (4) 各コミュニティに1人の専門員を配置し、行政協力員の事務負担軽減やコミュニティの機能強化をサポートすべきと考えるがどうか</p>	

<p>3 収蔵品の活用について</p>	<p>1 収蔵庫には、遺跡出土品、市民からの寄付品及び市の備品等が保管されている。市制50周年という節目にあたり、今後の活用方法について問う</p>	<p>(1) 現在、収蔵品の点数はどれくらいか。また、その内訳はどのようなものであるか  (2) 次の50年に引き継いでいくため、市制50周年を契機に収蔵品を再整理すべきと考えるがどうか  (3) 知多市や大府市の民俗資料館では、それぞれ特色ある展示を行っている。本市も展示のあり方を再検討すべきと考えるがどうか  (4) 収蔵品を展示するだけでなく、回想法キットとして広く市民に貸し出し、高齢者の介護予防や認知症予防に活用してはどうか</p>	
---------------------	--	--	--

質 問 者	9 神 野 久美子 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 子どもの安全対策について	1 登下校時の子どもたちを犯罪から守るための登下校防犯プランの取組について問う	(1) 登下校時の安全確保はどのように行われているのか。また、どのような課題があり、対策は立てられているのか (2) 不審者情報等の共有及び対応はどのようにしているか。また、過去に子どもたちを保護者が迎えに来た事例はあるか (3) 危機管理マニュアルの作成及び見直しはされているか。また、見直した具体的な内容はどうか (4) 自分の目で確認し考えながら登校する危険予知登校を実施している小学校があるが、全校で実施する考えはあるか	
	2 大津市で発生した交通死亡事故をはじめとする通学、通園、散歩途中での交通事故への安全対策が求められていることから、本市の現状について問う	(1) 大津市の事故後、保育園児の散歩コースや通学路の防護柵等の安全点検をどのように行ったのか。また、対応はどうか (2) 通学路の立哨場所の検討はどのようにされているか。また、立哨場所変更の要望に対してどのように対応しているのか	
2 買い物リハビリについて	1 高齢者の閉じこもり予防、健康維持等、医療費、介護費の抑制につながる買い物リハビリについて問う	(1) 過去3年間における、65歳以上の要支援者の人数と、過去2年間の介護予防・生活支援サービス事業の利用者数はどうか (2) 買い物支援事業を実施しての効果と課題は何か (3) 買い物リハビリの先進事例を見ると、買い物は利用者の満足度が高く、閉じこもり予防、健康維持等に効果があること、また事業者にとっても新たな顧客の確保ができることから、本市でも実施してはどうか	

3 DV相談について	1 DV問題は当事者ごとに実情が異なり、市担当職員にも柔軟でスピーディーな対応が求められることから、本市におけるDV相談窓口の現状と対応について問う	<p>(1) 平成30年度職員研修の内容と回数はどうだろうか。また、職員研修の内容を発展させていく考えはあるか</p> <p>(2) DV連絡会議を開催し、情報共有することが必要と考えるが、今後、DV連絡会議を開催する考えはあるか</p> <p>(3) DV問題にはスピーディーな対応が求められるため、任期付職員のみではなく、正規職員が対応する等の体制強化を図るべきではないか</p> <p>(4) DV防止の講座や、専門相談員による面接が受けられる等の先進的な取り組みをしている大府市の石ヶ瀬会館を参考に、相談者が安心して来られる窓口となるようにする考えはあるか</p>	
------------	--	--	--

質 問 者	10 近 藤 美保子 議 員 (日本共産党議員団)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 小中学校のエアコン設置・運用について	<p>1 本市は令和元年6月末にエアコン設置完了予定で、児童生徒、保護者等から暑い夏に間に合うと喜ばれている。5月には真夏日、39.5度の記録的猛暑日のところもあり、保護者等からは1日でも早いエアコン設置が望まれている。6月で気温が高い確率は50%あり、エアコンの試運転、本格的運用の時期を早め、教室等の温熱環境をよくすることが必要である。</p> <p>小中学校での熱中症予防や、教室等の学習環境を守るため、エアコンの設置・運用について問う</p>	<p>(1) 小中学校の普通教室へのエアコン設置の進捗状況はどうか。また、令和元年6月末までにすべてエアコンの設置を完了できるのか。また、いつから運用開始するのか</p> <p>(2) エアコンの運用についてマニュアルの作成及び内容はどのようになっているか。また、児童生徒等の健康状態を考慮し、小中学校の判断でエアコンを運用するようになっているか</p> <p>(3) 暑さ指数(WBGT)をはかる計測器を全小中学校に配置し、エアコンの運用に活用すべきではないか</p> <p>(4) 環境省の熱中症予防サイトで大府市の暑さ指数の実況と予測が発表されるが、エアコンの運用にどのように生かしていくか</p> <p>(5) 特別教室や避難所となる体育館にエアコンを設置すべきではないか</p>	
2 買い物困難地域について	<p>1 名和町にあったスーパー1店舗が撤退したことにより、302号線をこえた南側のスーパーまで歩いて行かなくてはならなくなった。高齢者から「買い物が大変になった」との声や今後の買い物、特に生鮮食品、野菜等の買い物等への不安の声が多く届いてきている。本市の高齢化が進む名和町の一部の地域等、買い物困難地域への対策を問う</p>	<p>(1) 平成29年度の高齢者実態調査報告で買い物に困る割合が高い地域について、市の認識と対策はどうか</p> <p>(2) 社会福祉協議会が実施している車による送迎がある買い物支援事業はボランティア中心である。本事業に対し人的支援、財政的支援等が必要と考えるが、市としてはどのように考えているか</p> <p>(3) 名和町における買い物困難地域で、生鮮食品等を取り扱うスーパーや地域の農家と連携した地産地消の直売所等の誘致が望まれるが、市としてはどのように考えるか</p>	

<p>3 40歳未満の健康 診査について</p>	<p>1 20歳代、30歳代は生活習慣について知識等を得る機会が少なくなり、運動不足、過食、朝食ぬき、睡眠不足等生活習慣病の基盤となる生活習慣が乱れやすくなる。2014年愛知自治体キャラバンまとめによると愛知県内54市町村のうち、本市を含めた4市が40歳未満の特定健診に準じた住民健診の未実施の市である。本市の40歳未満の健康診査実施の考えについて問う</p>	<p>(1) 18歳以上40歳未満の国民健康保険加入者数はどのようなか (2) 20歳代、30歳代の若い世代への健康増進事業はどのようになっているか。また、現在における知多5市5町の40歳未満の健康診査実施状況の把握、及び認識はどのようなか (3) 本市において、18歳から40歳未満の国民健康保険加入者に無料健康診査を行うべきと考えるがどうか。この年齢を対象に40歳以上に実施している特定健康診査の必須項目を行った場合、事業費の見込額はどうか</p>	
------------------------------	--	--	--

質 問 者	11 坂 ゆかり 議 員 (日本共産党議員団)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 大気汚染対策について	<p>1 2019年度は第6次東海市総合計画の後期5年間の初年度にあたる。目標年次の2023年までに、降下ばいじん量のめざそう値である1平方キロメートル当たり月3.3tを達成していくための方策について問う</p> <p>2 昭和40年代に問題となっていた光化学スモッグについて、近年、注意報、警報発令日が再び増加傾向にあるとされている。直近では、令和元年5月24日、26日、27日に光化学スモッグの予報や注意報が発令され、環境省、愛知県のホームページ、また、大府市役所緊急情報のツイートでも情報が掲載されていた。光化学スモッグによる健康被害を未然に防ぐため、本市の対策について問う</p>	<p>(1) どのような方策でめざそう値の達成を考えているか</p> <p>(2) 臨海部企業が行った降下ばいじん対策により、どのような効果が得られたかを把握しているか</p> <p>(3) 臨海部企業に自主管理目標値を決めるよう求めるべきと考えるがどうか</p> <p>(1) 光化学スモッグの予報等が発令された際に、周知はどのように行われているのか、また、直近の対応はどのようなであったか</p> <p>(2) 光化学オキシダントの濃度は気温や風速等と関連性があると言われているが、市独自で風向、風速に加え、気温の測定も実施し公表すべきと考えるがどうか</p>	
2 消防体制について	1 第6次東海市総合計画の中でAEDや消火器が普及し、いざというときにだれもが使用できることを10年後のめざすまちの姿としてあげていることから、初期消火体制等について問う	<p>(1) 市内の消防水利の状況はどのようなか</p> <p>(2) 街頭消火器の設置状況はどのようなか。また、設置場所の周知と、地域での初期消火の訓練の指導體制について検討してはどうか</p> <p>(3) 日常的に防火意識を高める取組として、ひとりで扱える「市民消火栓」等を設置する考えはあるか</p>	

<p>3 幼児教育・保育の無償化について</p>	<p>1 幼児教育・保育の無償化が令和元年10月から始まるが、消費税率10%への引き上げを財源としているため、今後の無償化や保育施設の拡充を進める際にさらなる増税が迫られかねない等、多くの問題点が指摘されている。無償化に対する、市の見解を問う</p>	<p>(1) 幼児教育・保育の無償化により、令和2年4月から公立保育園は市が無償化される保育料を全額負担することになると想定されるが、これによる本市の負担額はどのようか</p> <p>(2) 公立保育園が多いほど自治体の負担が増えることになり、その解決策として民営化を進める動きもあるが、公立保育園としての役割を果たしていくために、今後、公立保育園の負担に対しても、国や県の負担を求めていく考えはあるか</p>	
--------------------------	---	---	--



質 問 者	12 間 瀬 友 浩 議 員 (東海市民の声)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 今後の学校教育について	1 平成31年2月に名古屋市が、自分で考え、他者を認め、共感を持ち、社会で協働して積極的に活動できる大人に育てる理想的な教育法の一つであるイエナプラン教育を参考にして画一的な一斉授業からの転換を進める授業改善の研究を進めると発表した。また、平成31年4月に日本初のイエナプランスクール認定校として長野県佐久穂町に大日向小学校が開校していることから、イエナプラン教育について、本市の考えを問う	(1) 名古屋市が研究を進め、また大日向小学校が行っているイエナプラン教育について、内容を把握しているか (2) 今後、イエナプラン教育を導入する考えはあるか	
	2 ICT教育の推進に向けて東海市小中学校教育情報化推進検討委員会で検討を重ね、また、教員研修やICT環境整備等に取り組んでいるところであるが、ICT教育の今後について、本市の考えを問う	(1) ICT機器の環境整備の時期について、今後どのような予定なのか (2) 授業における教員のICT機器の活用法について、本市においてどのような検討が行われているのか (3) モデル校を設定して児童生徒が使用する端末をBYOD（私的端末の活用）形式で導入する検討を行ってはどうか (4) 令和元年5月に大府市が民間企業と包括連携協定を結びプログラミング教育等、ICTを行政サービスに取り入れたが、本市も民間企業と連携してICT教育を推進していく考えはあるか	

2 地域運営について	1 地域では、役員の固定化や担い手不足等、多くの課題を抱えている中で、今後、滋賀県東近江市の一般社団法人能登川地区まちづくり協議会のような持続可能な地域運営ができる体制整備が必要と考えるが、本市の考えを問う	<p>(1) 持続可能な地域運営に向けて、コミュニティを中心とした体制の整備が必要と考えるが、人材の確保や育成に向けた支援について、どのように考えているか</p> <p>(2) 法人格を持つ団体が地域運営をしている事例を調査研究する考えはあるか</p> <p>(3) 地域住民を対象に、持続可能な地域運営を行っている団体から講師を迎えて講演会等を開催する考えはあるか</p>	
------------	---	---	--